

ゲンティン・マレーシア(GENM)

マレーシア政府の「Visit Malaysia 2026」キャンペーン、
米で「リゾート・ワールド」を大規模統合リゾート(IR)へ

マレーシア | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK | REUTERS GENM.KL

- 2026/12 期 1Q(1-3 月)は、売上高が前年同期比 10.5%増、調整後 EBITDA が同 12.5%減。買収が増収に寄与の一方、米カジノ開業費用が嵩んだ。
- マレーシア政府は「Visit Malaysia 2026」と称し、2026 年をターゲット年として大規模な国家キャンペーンを実施中である。
- 米 JFK 国際空港近くで「リゾート・ワールド」拡張のライセンスを取得し、今年 4 月、テーブルゲームを導入したカジノとしてオープン。

What is the news?

5/21 発表の 2026/12 期 1Q(1-3 月)は、売上高が前年同期比 10.5%増の 28.6 億 MYR、減損損失や事業売却益など一時的要因の影響を除いた調整後 EBITDA が同 12.5%減の 6.44 億 MYR、税引き前利益が同 76.6%減の 0.43 億 MYR だった。マレーシアで昨年 2Q にゲンティン・カジノ・スタンフォードを買収したことが増収に寄与した一方、運営コストや人件費の増加、およびニューヨークでライセンスを取得したカジノのオープン準備の費用が嵩んだことが利益面で重しとなった。前四半期比では売上高が 4.8%減、調整後 EBITDA が 6.9%減だった。

1Q のセグメント別の調整後 EBITDA は以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門のマレーシアは前年同期比 1%減の 5.1 億 MYR。②同部門の英国・エジプトが同 8%減の 0.50 億 MYR。③同部門の米国・バハマが 32%減の 0.80 億 MYR。④不動産部門および投資・その他部門（為替換算損益含む）は前年同期 0.44 億 MYR から 0.01 億 MYR へ黒字減少だった。

How do we view this?

マレーシア政府は、「Visit Malaysia 2026」と称し、2026 年をターゲット年としてマレーシアを世界有数の観光地とすべく、大規模な国家キャンペーンを実施する。同社はこのキャンペーンに積極的に協力することで、リゾート・ワールド・ゲンティンがキャンペーンの主要拠点として位置付けられることとなる見通しだ。

米国・バハマでは、傘下のエンパイア・リゾーツを完全子会社化したことに加え、ニューヨークにおける 3 箇所のカジノ施設の入札応募に対してそのうちの 1 箇所について 2025 年 12 月、ニューヨークの当局が同社の JFK 国際空港の近くで運営するスロットマシンに特化した施設「リゾート・ワールド」を拡張する提案が承認されてライセンスが発行された。今年 4 月、ニューヨーク市内で初めてテーブルゲームを導入したカジノとして新しくオープンした。ゲンティングループは、約 55 億ドルを投じて施設全体を拡張する計画で、約 30 万平方メートルある敷地にはカジノのほか、ゲンティンのホテルブランドであるクロックフォード・ホテルを新しく建設する。隣接するハイアット・ホテルズの 400 室を含めて合計 2000 室に増やす計画で、7000 席あるコンサートやスポーツ大会を開けるイベント会場も建設するなど、ホテル、カジノ、エンターテインメント施設、会議場を備えた統合リゾート (IR) を目指している。

業績推移

※参考レート 1MYR=39.002円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2027/12F
売上高 (百万MYR)	10,057	10,792	11,788	12,857	14,015
当期利益 (百万MYR)	437	251	755	514	712
EPS (MYR)	0.08	0.04	0.13	0.09	0.13
PER (倍)	31.12	48.15	14.78	21.33	15.36
BPS (MYR)	2.26	2.10	2.05	2.08	2.16
PBR (倍)	1.06	1.01	0.96	0.92	0.89
配当 (MYR)	0.15	0.15	0.04	0.08	0.08
配当利回り (%)	6.25	7.03	2.03	4.01	4.01

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

配当予想 (MYR) **0.08** (予想はBloomberg)

終値 (MYR) **1.92** 2026/6/23

会社概要

1980年設立。マレーシア資本財閥のゲンティングループの企業で、統合型リゾート(IR)を世界的に展開している。

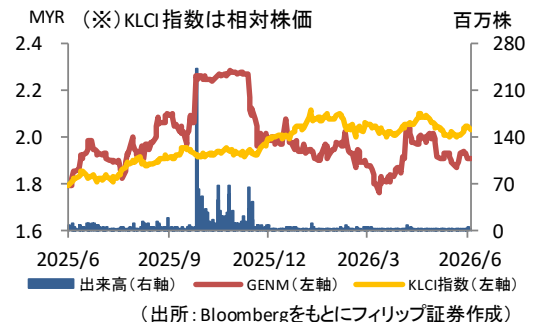
主力のレジャー・ホスピタリティ部門は、以下の通り。

- ①マレーシア事業は、マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)」を擁する。
- ②英国・エジプト事業は、英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンや郊外でカジノを運営するほか、オンライン・カジノ事業を展開。
- ③米国・バハマ事業は、ニューヨークの「リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨーク・シティ(RWNYC)」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」を運営する。

その他にも、不動産部門や投資・その他部門を運営している。

企業データ (2026/6/24)

ベータ値	0.58
時価総額 (百万MYR)	10,882
企業価値=EV (百万MYR)	22,735
3ヵ月平均売買代金 (百万MYR)	3.8



主要株主 (2026/6)

	(%)
1. ゲンティン	73.87
2. UBS	1.00
3. VANGUARD GROUP INC	0.98

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。